

⚠ 注意 安全に末永くご使用いただくため以下の指示を必ずお守りください。

演奏の前に

手を洗い、口をきれいにすすぎましょう。また1音ずつゆっくり鳴らしてみ、音程がおかしくないか確認しましょう。通常より音程が大きく下がっている音があれば、リードが折れている可能性があります。その場合、使用しないでください。

異物を入れないで

吹口やすき間に異物を入れないでください。故障・破損の原因になります。

カバーを強く押さないで

カバーを強く押ししたり、かんだりしないでください。変形・破損の原因になります。また、変形してきたすき間に唇や舌などが入ると思わぬケガをする恐れがあります。

ハーモニカを投げたり

落としたりしないでください

ハーモニカが破損するだけでなくケガの恐れがあり危険です。

熱くなるところはさけて

車の中やストーブのすぐ近く、日ざしの強いところにおかないでください。変形・破損の原因になります。

通常のお手入れについて

演奏後は穴を下に向けて軽く振り、たまった水を抜きましょう。やわらかい布で拭き取るか、ハーモニカ除菌クリーナー（HAC-01）や消毒用エタノールを含ませた布できれいにしましょう。本紙に記載の無い薬品や溶剤などを使ってのお手入れは、製品を傷めますので絶対に使用しないでください。お手入れ後はケースにしまって保管してください。

⚠ リードに関する注意事項

リードは折れることがあります

ハーモニカは内部で「リード」と呼ばれる小さな金属の板が振動し、音が鳴る仕組みです。リードは使用頻度や吹く息の強さによって金属疲労で音が下がったり、亀裂が入ったり、また折れたりすることがあります。これはリードを使用した楽器全般に起こり得る現象です。

上を向いて演奏しないでください

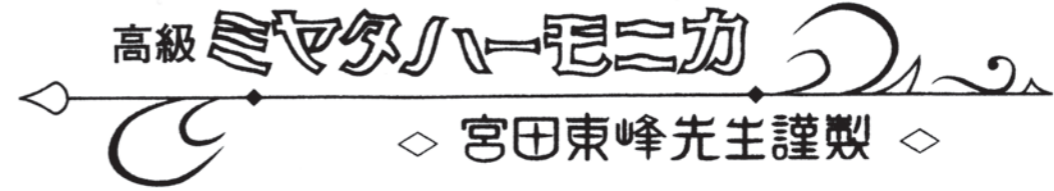
ハーモニカは上を向いて演奏しないでください。万一リードが折れた場合に、リード片が口に入ったり、吸い込んでしまう恐れがあります。もし吸い込んでしまった場合は、お近くの医療機関にご相談ください。

リードが折れる前兆として

リードが折れる場合、前兆として音程が大きく下がります。その場合、ただちに演奏を中止してください。そのまま演奏を続けると、リード片が口に入ったり、吸い込んでしまう恐れがあります。

リードは消耗品のため定期的なメンテナンスが必要です

弦楽器の弦が消耗によって切れることがあるように、リードも消耗によって音程が狂ったり、折れたりします。演奏の仕方或使用頻度によってリードの消耗状態は異なりますが、長く安全にお使いいただくため、定期的に弊社にメンテナンスをご依頼いただくことをお勧めいたします。



複音ハーモニカはトレモロのついた美しい響を持つため別名トレモロ・ハーモニカとも呼びます。上下2列の同音のリードが微妙なピッチで調律され柔らかい音を作り出します。

- ① 吹きやすい、くわえやすい
＜高級・ミヤタハーモニカ＞は演奏者のことを考え、楽な吹き口の移動ができるよう、又、くわえやすいように設計してあります。
- ② 安定した音程
複音ハーモニカはいろいろな奏法で演奏ができます。例えば、マンドリン奏法、バイオリン奏法、ベース奏法等。これらの奏法も安定した音程をもつ＜高級・ミヤタハーモニカ＞の美しい音があってはじめて生きてきます。
- ③ 修理や交換が簡単
＜高級・ミヤタハーモニカ＞の修理や部品の交換は、全国の鈴木楽器営業所で承ります。

複音ハーモニカの音色は、演奏する人の心をなごませ聞く人の心を魅了します。どうぞ、末永くご愛用ください。

■音配列(C調)

○=吹音 ●=吸音

④	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	⑤
	レ	ド	ファ	ミ	ラ	ソ	シ	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	ド	シ	ミ	レ	ソ	ファ	ド	ラ	

2 1 4 3 6 5 7 1 2 3 4 5 6 1 7 3 2 5 4 1 6



ミヤタハーモニカは リード楽器づくり一筋の鈴木楽器で製造

楽器の都・浜松で「鈴木萬司」が自分で満足できるハーモニカを造ることを夢見て、昭和29年に鈴木楽器製作所を設立。鈴木は、少年時代よりハーモニカやコルネットを得意とし、特にハーモニカはバンドに加わり演奏していた。鈴木は当時を振り返って、“とにかく金銭を考えずに一番いいハーモニカを造ってみたいかった”と会社設立の動機を語っている。以来、リード楽器づくり一筋の人生のスタートとなる。本製品「ミヤタハーモニカ」は、大正から昭和初期に活躍したハーモニカ奏者、宮田東峰氏が監修したハーモニカを、鈴木が情熱を注ぎ当時のものに限りなく近い形で製作した復刻モデルである。



株式会社 鈴木楽器製作所

〒430-0852 浜松市中区領家 2-25-7 TEL (053) 461-2325

www.suzuki-music.co.jp